

第2回ドキュメント

2nd Competition Results

第2回大会 (2004.8.30~9.2)

第2回大会は、ツインリンクもてぎで開催した。企業・団体など101のスポンサーを得て、エントリー34チーム、大会には海外の3チームを含む28チームが参加した。参加者は約1,530名で、その内訳はスタッフ230名、チームメンバー600名、プレス関係者100名、一般見学者600名にのぼり、第1回大会に比べチーム数・参加者数とも大幅に増え盛大な大会となった。

一日目は、車検とプレゼンテーションを行った。

二日目の未明から午前にかけて台風による強風が会場を襲いテントの半数以上が飛ばされる被害を被った。二日目の競技、ホテル内で行うプレゼンテーションは予定通り進めることができたが、強風がおさまった10時半過ぎに破損したままのテントで、車検、設計審査、コスト審査を開始し、午後から予定よりやや遅れてアクセラレーションとスキッドパッドを開始した。

三日目は、よい天気恵まれ予定通りアクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス競技を終えた。その後、チームの強い要望もあつて大会関係者全員の集合写真撮影を行った。

四日目は、午前中雨天でコースのあちこちに大きな水溜りができ、小止みになると水溜りの水をはいてコース整備を行うという状況が繰り返された。降雨の状況を見つつエンデュランス開始のタイミングを見計らっていたが、天候の回復が直ぐには望めない状況が続き、午後一番に予定していたデザインファイナルを午前に変更した。やや天気が回復してきた11時頃に、周回路22周の予定を12周に変更し、エンデュランスを開始し、無事に終わることができた。また、表彰式も途中から土砂降りの雨にみまわれたが、そのまま続行し、何とか大会を終えることができた。

総合成績は、トータルスコアで他チームに大きな差をつけたテキサス大学アーリントン校が優勝し、SAE大会の経験を積み重ねてきた神奈川工科大学、国土館大学がベスト3に入った。第2回大会から総合成績最優秀チームに経済産業大臣賞が贈られた。



【総合1位】 University of Texas at Arlington



【総合2位】 神奈川工科大学



【総合3位】 国土館大学

順位	学校名	合計得点
1位	University of Texas at Arlington	832.5
2位	神奈川工科大学	680.1
3位	国土館大学	677.7
4位	芝浦工業大学	622.9
5位	宇都宮大学	622.6
6位	金沢工業大学	612.4
7位	上智大学	575.2
8位	金沢大学	524.1
9位	武蔵工業大学	520.6
10位	日本大学理工学部	435.7
11位	名古屋工業大学	433.8
12位	名古屋大学	409.4
13位	Yeungnam University	322.3
14位	慶應義塾大学	318.3
15位	名城大学	221
16位	近畿大学	206.2
17位	東京大学	205.2
18位	静岡大学	178.4
19位	明星大学・工学院大学	165.4
20位	京都大学	164.4
21位	大阪大学	151.3
22位	日本大学生産工学部	120.1
23位	大同工業大学	105.7
24位	同志社大学	89.6
25位	東海大学	77.2
26位	福井工業大学	73.4
27位	Leeds University	40.8
28位	神戸大学	-40.7